

PandAで数式を入力するには

MathJax環境を用いることで、数式をTeX形式で入力出来ます。以下ではMathJax環境の設定方法と、数式の入力の方法について説明します。

〈MathJax環境の設定方法〉

1. 画面左のメニューの「サイト情報」をクリックし、「ツールを編集」をクリックします。



2. 「LaTeX と AsciiMath の自動描画をこのサイトで可能にするために MathJax を有効にします。詳細。」の部分にチェックを入れて、ページ下部の「続ける」をクリックします。



3. 「サイトツール編集を確認」で「このサイトでLaTeXの自動描画を可能にしました」となっていることを確認し、「完了」をクリックします。

🔗 サイト情報 🔗 リンク ? ヘルプ 🗑️

サイト情報	サイト情報を編集	ツールを管理	ツール表示順	日時を管理	参加者を追加	参加者を管理	クラス名簿を編集	グループを管理
親サイトへのリンク	外部ツール	アクセスを管理	サイトを複製	サイトからインポート	ファイルからインポート	ユーザ監査ログ	概要を管理	

サイトツール編集を確認 対象: OA テスト

サイトの次のツールが選択されました (追加されたツールは青で表示されています) :

- 概要 (ホーム/Home)
- 授業計画
- レッスン (授業)
- カレンダー
- お知らせ
- 授業資料 (リソース) (授業資料)
- フォーラム
- 課題
- テスト・クイズ
- 成績簿
- 提出箱
- チャットルーム
- メールアーカイブ : example@panda.ecs.kyoto-u.ac.jp
- サイト情報
- メディアギャラリー
- メール
- 意識調査
- Turnitin (Turnitin)
- BookRoll (BookRoll)
- Zoom (KU License) (Zoom (KU License))

このサイトでLaTeXの自動描画を可能にしました

完了 戻る キャンセル

MathJax環境の設定方法は以上です。続いて数式の入力方法について簡潔に説明します。

〈数式の入力の方法〉

テキストエディタ内でTeX形式で数式を入力するには“\ $”と“\)”もしくは“\[”と“\]”で数式を囲んで下さい (バックスラッシュ \ は環境によっては円記号 ¥ で表示されることがあります)。 $x^2 + y^2$ のように文中に挿入する場合は $\backslash(x^2 + y^2\backslash)$ のように半角の丸括弧で囲みます。また、$

$$\int_a^b f(x)dx$$

のように挿入するには、 $\backslash[\int_a^b f(x)dx\backslash]$ のように半角の大括弧で囲みます。

注) 数式を入力する場合、エディタ画面で“\ $”や“\[”と“\)”や“\]”の間に改行を入れると無効になります。テキストエディタの「ソース」を選択してソース環境で編集すると、改行に伴い<p>タグや
タグ等のHTMLタグが自動で挿入されることがなく、したがって改行しても数式環境が無効になりませんので、ソース環境で編集することをおすすめします。$

〈TeXの形式で数式を入力する〉

TeXのように数式を打つ場合、半角の"`\(`"と"`\)`"、もしくは半角の"`\[`"と"`\]`"で数式を囲むと作成できます。

例) テキストエディタ内に "`\(x^2 + \int_a^b f(x)dx\)`" と入力すると、 $x^2 + \int_a^b f(x)dx$ と表示されます。

"`\[x^2 + \int_a^b f(x)dx\]`" と入力すると、

$$x^2 + \int_a^b f(x)dx$$

と表示されます。

注意：数式の途中で改行すると数式環境が無効になります。ソース環境で編集することをおすすめします。

例えば、

`\(x^2 + x + \dot{x} = 0\)`

`y^2 + yx = 0\)`

とエディタ内で2段にわたって入力しても、

`\(x^2 + x + \dot{x} = 0\)`

`y^2 + yx = 0\)`

と表示され、

$x^2 + x + \dot{x} = 0$

$y^2 + yx = 0$

とはなりません。(ソースでは間に `<p>` タグが挿入されてしまいます)